

# 急性腎盂腎炎患者に対する

## 尿培養の実施率



### 測定対象

《分子》 分母のうち、当該入院期間中に細菌培養同定検査を実施した患者

《分母》 当該入院期間中に抗菌薬（注射薬）が処方された急性腎盂腎炎の退院患者数

### 解説

急性腎盂腎炎の治療では適切な抗菌薬の投与が必要になります。不適切な抗菌薬の選択は、病態の悪化につながり、敗血症を招くこともあります。そこで、尿の細菌培養検査を行い、原因菌を同定し、適切な抗菌薬による治療を行っていくことが求められます。

### 結果

2019年度	94 %
2018年度	91 %

### 分析

尿培養の実施率は上昇しています。尿培養の必要性がより病院全体に周知徹底され、原因菌を同定し、適切な抗菌薬による治療が実施されているといえます。